

小學算術書

四

Handwritten characters: 算術 (Arithmetic) and 冊 (Volume)

術	算	冊
數	冊	冊
四	一	七
學校	縣中	滋賀

算  
二  
九

411  
817  
Vol.4

小學算術書卷之四

除算

第一節

一を、一にて割れ、一、二を、一にて割れ、二、三を、一にて割れ、三、四を、一にて割れ、四、五を、一にて割れ、五、六を、一にて割れ、六、七を、一にて割れ、七、八を、一にて割れ、八、九を、一にて割れ、九、十を、一にて割れ、十、

6	$\frac{1}{1}$	7	$\frac{1}{1}$	8	$\frac{1}{1}$	9	$\frac{1}{1}$	10	$\frac{1}{1}$
1	$\frac{1}{1}$	2	$\frac{1}{1}$	3	$\frac{1}{1}$	4	$\frac{1}{1}$	5	$\frac{1}{1}$



三を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 五を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 六を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 一を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 二を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 八を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 十を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 四を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 九を、一にて割れど、幾個とふらや、  
 七を、一にて割れど、幾個とふらや、



小梨一個あり、これを一個宛、小兒

一梨子一個あり、これを一個宛、小兒  
 に與ふるとき、幾人一與へ得べき  
 や、



二冊の書籍を、一日に一冊宛讀む  
 とき、幾日一して、讀み終らや、



三柿三個あり、これを一人に與ふら  
 とき、幾個ふらや、

四大工も、一日に、椅子を一個宛拵べたり、今四個  
 の椅子を拵へるにも、日數幾許ふらや、  
 六答、小梨一個宛、一冊宛、一冊宛、  
 五金五圓を、一に割れど、幾圓とふらや、

五金答

六 六人の小兒に玩器を一個宛與ふるときも、幾個の玩器を入用ともしや、

四 大答

七 一日に一間宛、溝を鑿りたり、今七間の溝を鑿

るに、日數幾許ふらや、

答

三 三問をり、一人宛與ふ

八 仁、義、禮、智、忠、信、孝、悌の八個の文字を、一日に、一

字宛、習ふときも、幾日にして、習ひ終らや、

答

二 二問の書簡を一日に一紙宛與ふ

九 鴨九羽あり、これを一羽宛、人に與ふれを、幾人に、與へ得べきや、

答

十 雞卵十個あり、これを、毎朝一個宛、食むるときも、日數幾許にして、食一終らや、

答

十一 童子あり、書物を學びて、五時の間に、五枚を覺えたり、然るときも、一時間に、幾枚を、覺えたらや、

答

十二 石八個にて、其目方八匁あり、ときも、一個の石

の目方も、幾多ありや、

答

〔五〕 1 2 3 4 5 6 7 8 9 の札を、拵ふるに、一時間に、一枚宛拵ふとき、幾時間に、拵へ得るや

答

十 第二節

二を、二にて割れを、一、四を、二にて割れを、二、六を、二にて割れを、三、八を、二にて割れを、四、十を、二にて割れを、五、十二を、二にて割れを、六、

十四を、二にて割れを、七、十六を、二にて割れを、八、

十八を、二にて割れを、九、廿を、二にて割れを、十、

2	$\frac{2}{2}$	4	$\frac{4}{2}$	6	$\frac{6}{2}$	8	$\frac{8}{2}$	10	$\frac{10}{2}$
12	$\frac{12}{2}$	14	$\frac{14}{2}$	16	$\frac{16}{2}$	18	$\frac{18}{2}$	20	$\frac{20}{2}$

八を、二にて割れを、幾個とあるや、六を、二にて割れを、幾個とあるや、

四を、二にて割れを、幾個とあるや、十二を、二にて割れを、幾個とあるや、

十四を、二にて割れを、幾個とあるや、十六を、二にて割れを、幾個とあるや、

十八を、二にて割れを、幾個とあるや、二十を、二にて割れを、幾個とあるや、

廿を、二にて割れを、幾個とあるや、廿二を、二にて割れを、幾個とあるや、

廿四を、二にて割れを、幾個とあるや、廿六を、二にて割れを、幾個とあるや、



一 林檎二個を、二人の小兒に、與ふるときも、各幾個の林檎を得べきや、

答



二 筆一本の價も、二錢あり、今四錢の金にても、幾本の筆を買ひ得べきや、

答



三 六羽の鴛鴦あり、二羽にて、一對ふるときも、鴛鴦幾對ありや、

答

四 一時間に、三里の路を、歩じたま、今八里の行程

を、歩せよにも、幾時間ふべきや、

答

五 二升の水を、毎日、三合宛飲むるときも、幾日に一て、飲み終るや、

答

六 靴五む、一日に、靴二足宛拵へたり、今十三足の靴を、拵へるにも、日數幾許あるや、

答

七 鶉十四羽あり、これを、二羽宛、人に與ふるときも、幾人に、與へ得べきや、

答

八 金十六圓を、二にて割れば、幾圓あるや、

答

九 あら童子も、一日に、二、字宛、文字を習ひて、十八字を、習ひ得たりといふ、然るときも、其日幾幾許あるや、

答

十 二十人の士卒を、二行に列せしむるときも、十人も幾人宛あるや、

答

十一 絹二丈あり、これを二つに、切斷せるときも、一

片も幾丈ありや、

答

十二 下等小學と、上等小學にて、十六級あり、これを一年に、二級宛、進むときも、幾年にして終るや、

答

十三 一年の月の數も、十二個月あり、これを二つに割れば、幾月ありや、

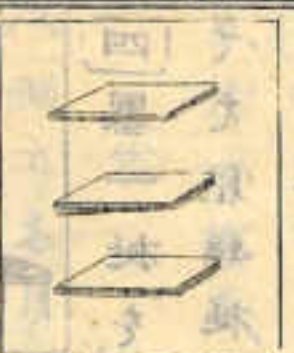
三 答

第三報

第三節

三を三にて割れを、一、六を三にて割れを、二、  
 九を三にて割れを、三、十二を三にて割れを、四、  
 十五を三にて割れを、五、十八を三にて割れを、六、  
 廿一を三にて割れを、七、廿四を三にて割れを、八、  
 廿七を三にて割れを、九、三十を三にて割れを、十、  
 卅三を三にて割れを、十一、三十六を三にて割れを、十二、  
 卅九を三にて割れを、十三、四十二を三にて割れを、十四、  
 四十八を三にて割れを、十五、五十四を三にて割れを、十六、  
 六十を三にて割れを、十七、六十六を三にて割れを、十八、  
 七十二を三にて割れを、十九、七十八を三にて割れを、二十、  
 八十四を三にて割れを、二十一、九十を三にて割れを、二十二、  
 九十六を三にて割れを、二十三、

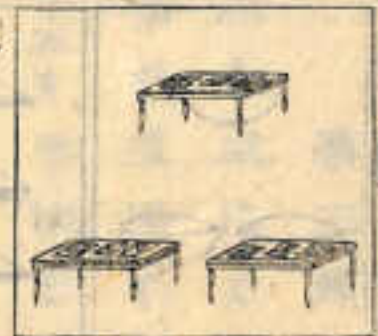
十二を三にて割れを、幾個とふるや、  
 廿一を三にて割れを、幾個とふるや、  
 卅三を三にて割れを、幾個とふるや、  
 四十八を三にて割れを、幾個とふるや、  
 六十六を三にて割れを、幾個とふるや、  
 八十四を三にて割れを、幾個とふるや、  
 九十六を三にて割れを、幾個とふるや、  
 十二を三にて割れを、幾個とふるや、  
 十八を三にて割れを、幾個とふるや、  
 廿七を三にて割れを、幾個とふるや、  
 三十九を三にて割れを、幾個とふるや、  
 五十一を三にて割れを、幾個とふるや、  
 六十三を三にて割れを、幾個とふるや、  
 七十五を三にて割れを、幾個とふるや、  
 八十七を三にて割れを、幾個とふるや、  
 九十九を三にて割れを、幾個とふるや、



一 半紙三帖ありこれを三人に與ふ  
 れを、各幾帖の半紙を得べきや、金二  
 答

三 猪口三個を、金九錢にて買ふとき、  
 猪口一個の價は、幾許ふりや、  
 答





三 算用数字の札、九枚を、三脚の机の上  
 上に、並ぶるときは、机一脚につき、札  
 幾枚ふりや、

答

四 墨一挺を、金三銭にて買たり、今、十二銭の金に  
 て、墨幾挺を得べきや、

答

五 石鹼三個の價え、十五銭あり、然るとき、石鹼一  
 個の價え、幾許ふりや、

答

六 百合花十八輪あり、これを三輪宛花瓶に挿け  
 とき、幾個の花瓶を、入用と奉じや、

答

七 教師、毎日、歴史を三枚宛講して、生徒に聽せし  
 め、廿一枚を、講したるとき、日數幾許ふりや、

答

八 画工あり、廿四枚の繪を、三日の間に、画けりと  
 いふ、然るとき、一月に幾枚宛、画きたるや、

答

九 金廿七圓を、三人にて、等しく分つとき、各幾

問の金を取り得べきや、答しと云て、よきや、答

答

〔十〕石筆三十本あり、これを三本宛束ねて、一把と  
走るときた、幾把とふや、三日の間、四冊たり

答

〔十一〕或人、家を借りて三個月間に、金廿四圓を拂  
ひたりといふ、然るときは、一箇月につき、金幾圓  
ふりや、

答

〔十二〕一時の間に三里宛行きて、廿七里を行きたり

然るときは、幾時間歩みたりや、

答

〔十三〕軍艦一、一艘、二、橋三本あり、今十八本の橋ある  
とき、軍艦の數を幾艘ふりや、

答

第四節

四を、四にて割れ、一、八を、四にて割れ、二、  
十二を、四にて割れ、三、十六を、四にて割れ、四、  
廿を、四にて割れ、五、廿四を、四にて割れ、六、

廿八を、四にて割れを七、  
卅二を、四にて割れを六、  
卅六を、四にて割れを九、  
四十を、四にて割れを十、

生  $\frac{1}{4}$  8  $\frac{1}{4}$  12  $\frac{1}{4}$  16  $\frac{1}{4}$  20  $\frac{1}{4}$

24  $\frac{1}{4}$  28  $\frac{1}{4}$  32  $\frac{1}{4}$  36  $\frac{1}{4}$  40  $\frac{1}{4}$

十二を、四にて割れを、幾個とあるや、  
廿を、四にて割れを、幾個とあるや、  
廿二を、四にて割れを、幾個とあるや、  
廿四を、四にて割れを、幾個とあるや、  
廿六を、四にて割れを、幾個とあるや、  
廿八を、四にて割れを、幾個とあるや、  
卅を、四にて割れを、幾個とあるや、  
卅二を、四にて割れを、幾個とあるや、  
卅四を、四にて割れを、幾個とあるや、  
卅六を、四にて割れを、幾個とあるや、  
卅八を、四にて割れを、幾個とあるや、  
四十を、四にて割れを、幾個とあるや、



一 四挺の寸刀を四人の小兒に、與ふ  
れを、各幾挺を得べきや、  
答



二 綱八反あり、これを、四人に分つと  
きち、各幾反ありや、  
答



三 十二本の松の水を、一列に、四木宛  
並に植ふとき、幾列に植べきや、  
答

四 蕎麥粉一升の價を四錢ふるとき、四十錢にて



十二 一坪、四匁宛の地稅を拂ひて卅六匁を盡せり  
 といふ、然らばときた、此地面の坪數を幾許ありや  
 答 十坪を盡せり  
 十一 一年を、十二個月あり、これを四季に分てむ一  
 季を幾月ありや、

答 三個月あり  
 十 一時間に、四里宛流るゝ、河水ありて、卅二里を  
 流るゝとき、幾時間を過ぎたりや、

答 四時間あり  
 八 答 一、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、百

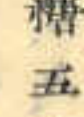
第五節

五を、五にて割れを、一、十を、五にて割れを、二、  
 十五を、五にて割れを、三、卅を、五にて割れを、四、  
 卅五を、五にて割れを、五、卅を、五にて割れを、六、  
 卅五を、五にて割れを、七、四十を、五にて割れを、八、  
 四十五を、五にて割れを、九、五十を、五にて割れを、十、

5	10	15	20	25
30	35	40	45	50

五を、五にて割れを、幾個とありや、五を、五にて割れを、幾個とありや、  
 卅五を、五にて割れを、幾個とありや、卅を、五にて割れを、幾個とありや、

卅を五にて割れを幾個とあるや、  
四十五を五にて割れを幾個とあるや、  
卅五を五にて割れを幾個とあるや、  
五十を五にて割れを幾個とあるや、  
十も五にて割れを幾個とあるや、  
四十を五にて割れを幾個とあるや、



二十本の筆を五把に分てた二把を



幾本ありや十も五にて割れを



答



三十五間の地に、松の木五本あり、然

四 或人も馬に乗りて廿里の路を、五時間に行き

とり、然りとまむ、一時間には、幾里宛を、行きたるや、

八 桶茶、双も、以て本、四十、五、幾、へ、も、も、も、も、

五 一反、三丈の織物を、五つに割れを、幾尺ありや、

答、如、問、如、答、如、問、如、答、如、問、如、答、

六 書物、一冊の價も、五錢あり、今二十五錢にて、

幾冊の書物を得べきや、

七 或生徒、七時間に、卅五枚の書物を、讀み終ると  
まひ、一時間に、幾枚宛、讀みたるや、

一 答 二丈の紙、四十五の階、此の幾枚も、

八 絹五反を以て、水綿四十反と、換へるとき、絹

一反に、つま、水綿も、幾反宛、ふりや、

一 答 絹、四十五の階、此の幾枚も、

九 石炭油、五瓶を、四十五日に、燃したり、然るとき

一 瓶の油を、幾日に、用ゐると、少費問ふりや、

一 答 三十五間の紙、此の外、の木、五本、ふり、燃

十 一輪の梅花も、五辨ふり、今地上に、散たる辨も、  
五十辨あり、然るとき、梅花幾輪、散たるや、

一 答 梅花、四十八の階、此の幾枚も、

十一 五十字の假名を、五日に、全く、誦誦したりとい  
ふ、然るとき、一日に、幾字宛を、誦誦したるや、

一 答 誦誦、四十八の階、此の幾枚も、

十二 一日に、五時間宛、替古を、ふして、三十五時、學び  
たり、然るとき、日數幾許あるや、

一 答 替古、四十八の階、此の幾枚も、

十三 五人の工夫ありて、机を十五脚、拵へるとき、一

一 答 机、四十八の階、此の幾枚も、

人も、幾脚の机を、拵ふべきや、五脚机一、

答

第六節

六を、六にて割れを、一、  
 十二を、六にて割れを、二、  
 十八を、六にて割れを、三、  
 廿四を、六にて割れを、四、  
 卅を、六にて割れを、五、  
 卅六を、六にて割れを、六、  
 四十二を、六にて割れを、七、  
 四十八を、六にて割れを、八、  
 五十四を、六にて割れを、九、  
 六十を、六にて割れを、十、

6	÷6	12	÷6	18	÷6	24	÷6	30	÷6	36	÷6	42	÷6	48	÷6	54	÷6	60	÷6
---	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

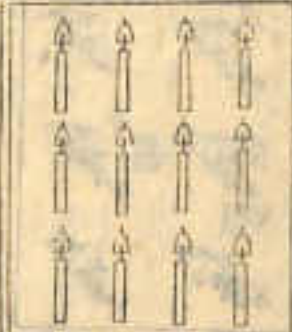
三十六を、六にて割れを、幾個とあるや、廿四を、六にて割れを、幾個とあるや、  
 十二を、六にて割れを、幾個とあるや、六を、六にて割れを、幾個とあるや、  
 四十八を、六にて割れを、幾個とあるや、卅を、六にて割れを、幾個とあるや、  
 卅六を、六にて割れを、幾個とあるや、二十四を、六にて割れを、幾個とあるや、  
 六十を、六にて割れを、幾個とあるや、四十二を、六にて割れを、幾個とあるや、

36	÷6	42	÷6	48	÷6	54	÷6	60	÷6
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----



一 六房の葡萄を、六人の小兒に與ふ  
 とき、各幾房の葡萄を得べきや、  
 答 十二房あり、





三 風鈴十二個あり、これを六個所に  
掛れを、一個所に、風鈴、幾個宛たりや、

六 答。蒲団六人の少額に幾人

三 蠅も、脛六本あり、今脛十八本ある

とき、蠅幾匹あるや、

答。...

四 靴一足の價七六圓あり、然るとき、廿四圓の金

にて靴幾足を得べきや、

八 答。...

五 鳩三十羽あり、これを六人に分ても、各幾羽の

鳩を得べきや、

六 一里も三十六町あり、これを六町一里にふら

ときも、幾里とふるや、

七 蒸氣船を、一時に六里を走れり、今四十二里を

走るときも、幾時間を費れや、

八 砂糖一斤を六錢五分、今四十八錢にむ、砂糖幾

斤を得べきや、

...

...

答

九 一間の長さを、六尺ふり、令、五十四尺の長さ、幾間ふりや、

答

十 鮎六十四匹あり、これを一籃に、六匹宛入、二日に、幾籠の鮎とふりや、

答

十一 或人、四十八里の道を、六日に行くと、きむ、一月に、幾里宛歩みしや、

答

十二 一段の田地より米六俵を收むるに五十四俵の米を得るとき、幾段の田地ありや、

答

十三 酒一樽も、三斗六升ふり、これを、六樽に分れ、一樽の酒も、幾升とふりや、

答

第七節

十四 七にて割れを、一、十四を、七にて割れを、二、廿八を、七にて割れを、三、廿八を、七にて割れを、四、



四 一週日と七日あり、今廿八日と、幾週日あるや。

答

五 漁人も、網を命じて、一時間に、魚を七匹得たり、

歸るときに、魚を見れむ、総て、卅五匹の魚ありといふ、然るときも、幾時間を費したりや。

答

六 四十二人を、七人宛、端船に乗らしむるとき、

幾艘の端船を入用とふは、や。

答

七 四十九冊の本あり、七冊を、一帙とふは、ときも、

幾帙あるや。

答

八 或人、五十六圓の金を以て、絹七反を買ひ、

然るときも、絹一反の價も、金幾圓ありや。

答

九 珊瑚珠七個あり、これを、六十三圓にて買ふと

き、珊瑚珠一個の價も、金幾圓ありや。

答

十 十個の巢に、卵七個宛あるとき、七十个の卵を

得るにも、幾個の巢ありや。

答 歩兵六共三人あはるとき、七人を一列にふせ、幾列とふらや、

答 匠夫ありて一日は七時間宛職をふして五十六時間の職をふすに、日数幾許あるや、

答 小兒の年齢四七歳より父の年齢も四十九歳ふるとき、父の年齢も小兒より幾倍多きや、

第八節

八を八にて割れを、一、十六を八にて割れを、二、

廿四を八にて割れを、三、卅二を八にて割れを、四、

四十を八にて割れを、五、四十八を八にて割れを、六、

五十六を八にて割れを、七、六十四を八にて割れを、八、

七十二を八にて割れを、九、八十を八にて割れを、十、

$$\begin{array}{r} 8 \\ \div 8 \\ \hline 16 \\ + 8 \\ \hline 24 \\ + 8 \\ \hline 32 \\ + 8 \\ \hline 40 \\ \div 8 \end{array}$$

$$\begin{array}{r} 48 \\ \div 8 \\ \hline 56 \\ + 8 \\ \hline 64 \\ + 8 \\ \hline 72 \\ \div 8 \\ \hline 80 \\ \div 8 \end{array}$$

廿四を八にて割れを、幾個とふらや、十六を八にて割れを、幾個とふらや、

八を八にて割れを幾個とふるや、卅二を八にて割れを幾個とふるや、  
 六十四を八にて割れを幾個とふるや、七十二を八にて割れを幾個とふるや、  
 四十を八にて割れを幾個とふるや、四十八を八にて割れを幾個とふるや、  
 八十を八にて割れを幾個とふるや、五十六を八にて割れを幾個とふるや、

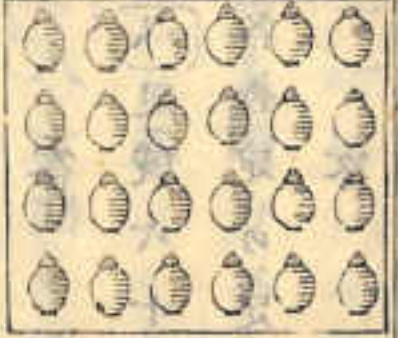


一 八冊の水を八日に寫り終りとき  
 七、一日に幾冊宛寫り得りや、



二 鯛十六枚あり、これを八人に分つ  
 とき、各幾枚の鯛を得べきや、

答



三 廿四個の提灯を、八間の櫓に掛る  
 とき、一間につき、各幾個の提灯を、  
 掛け得りや、

答

四 人形師あり、八日の間に、卅二個の人形を、拵へ  
 たりといふ、然るとき、一日に、幾個宛人形を、拵  
 へたりや、

答

五 燒酎一合の價を、八錢あり、余金廿四錢にて燒  
 酎幾合を得べきや、

答

六鏡八枚を、金四十八圓にて買ひたり、然るときき、鏡一枚の價も、金幾圓ふりや、

答

七楷書五十六字あり、これを、八行に書くべきとき、一行に、幾字宛書き、て可ふゆゑや、

答

八足袋六十四足あり、これを、八人に分つとき、各幾足の足袋を、得べきや、

答

九一日に、八枚宛書物を讀むるとき、七十二枚の書物を讀むに、幾日にして終るや、

答

十八十間の廊下あり、八間毎に、ランプを一個宛掛くるとき、ランプの数を、幾個ふりや、

答

十一葡萄一房に、八個の實あり、今六十四個の實を得んにも、葡萄幾房を、入用とふればや、

答

十二軍艦一艘に、大砲八挺を備へ終期、今四十八挺





二十八羽の雀を、九個の籠に入ると  
 とき、若籠に雀幾羽宛あるや、

一 答 八羽、若人の小籠に宛入ると



三 廿七冊の書物を、九冊宛重ぬると  
 きを幾重とをるや、

四 狩して、獸卅六匹を得たり、但一人各九匹を得  
 たりといふ、然るときを、狩したる人、幾人ふりや

五 時計九個を、金四十五圓にて買ひたり然ると

き、時計一個の價も、金幾圓ふりや、

六 地面五十四坪あり、これを九人に分てを、一人

毎に、幾坪の地面を得るや、

答

七 石筆一把を求めて、九錢を拂ひたり、今六十三  
 錢を拂ふときを、幾把の石筆を得るや、

答

八 友人を、九日に、洋書七十二枚を、翻譯せしめとい

ふ、然るときを、一日、幾枚宛翻譯せしや、

答

九教師八十七人あり、これを九個所の學校に配當せしが、一學校に、教師幾人宛ふらや、

答

十商人商法にそ、九日の間に九十圓の利益を得たり、然るときと、一日に幾圓の利益ふりや、

答

十一蒸氣船を、一時間には九里宛走りたりるとき、六十里の路を行きたれど、幾時間走れりや、

答

十二林に、松の木七十二本ありるとき、これを一日に、九本宛伐れど、幾日にして、伐り終らや、

答

十三算用數字の懸圖を、一枚に、九字宛書きたり、今八十一字を書くときと、懸圖幾枚にて可あらや、

答

第十節

十を十にて割れど、一、廿を十にて割れど、二、卅を十にて割れど、三、四十を十にて割れど、四、

五十を十にて割れば五、六十を十にて割れば六、七十を十にて割れば七、八十を十にて割れば八、九十を十にて割れば九、百を十にて割れば十、

60	10
$\div 10$	$\div 10$
70	20
$\div 10$	$\div 10$
80	30
$\div 10$	$\div 10$
90	40
$\div 10$	$\div 10$
100	50
$\div 10$	$\div 10$

十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 二十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 三十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 四十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 五十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 六十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 七十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 八十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 九十を十にて割れば、幾個とあるや、  
 百を十にて割れば、幾個とあるや、



一 筭十本あり、これを十人の女兒に與ふるとき、各幾本の筭を得るや、

十四 答、一人一人一本得るや、



二 慈姑廿個あり、これを十錢に買ふとき、慈姑一個を、幾錢ふりや、

十四 答、廿個を十錢に買ふとき、一個は五錢ふりや、



三 筆卅本あり、これを十個の筆立に挿はるとき、各幾本の筆ありや、

十四 答、十個の筆立に挿はるとき、各筆立に三本ありや、

四 硝子板一枚の價も、十錢あり、今四十錢に、硝子板幾枚を、得べきや、

答

五 或人、金五十圓を借りて、毎月、金十圓宛返りと

きを、幾月にして、返り終るや、

答

六 一町も、六十間あり、今十間に、玻璃燈一個宛照

らすときを、玻璃燈の數幾個分ちや、

答

七 或人、一年に、十部宛書物を著して、既に、七十部

を著せりといふ然るときを、幾年を過ぎしや、

答

八 或生徒、十時間勉強して、書物を、八十枚讀みた

り然るときを、一時間にて、幾枚讀みしや、

答

九 四分規の度数も、九十度あり、これを十個に分

て、各幾度とふるや、

答

十 一日に十里宛歩行して、七十里の路を行きた

り然るときを、幾日歩行せしや、

答

〔七〕茶一斤を、十錢にて買ひ、既に八十錢を拂ひたり然るときも、幾斤の茶を買ひとるや、

答

〔八〕十個國の中には、學校百個所を建つるときは、一國につき、幾個所の學校ありや、

答

〔九〕祖父の年齢も、八十歳ふり、孫の年齢も、十歳あるとき、祖父の年齢も、孫より幾倍多きや、

答

第十一節

〔一〕右の手に、二個の蜜柑を持ち、又左の手に、四個の蜜柑を持ちたるとき、これを、二人の小兒に與ふれど、各幾個を得るや、

答

〔二〕地理書三冊と、歴史六冊あり、これを、三個月の間に讀み終らんと欲るとき、一箇月に幾冊宛讀むべきや、

答

〔三〕柳の木二本と、梅の木六本あるとき、これを、四

問の地は、我々んとせき、一間毎に幾本宛、裁方  
まや、

答

四 上木したる書物四冊と、寫本六冊あり、これ  
五 帙とよほとき、一帙又、幾冊宛ふるや、

答

五 七斤の茶と、十斤の砂糖あり、これを、六人に  
分つとき、各幾斤宛ふるや、

答

六 一房に、九個の實ある葡萄と、又一房に、十二個

の實ある葡萄あり、今これを、七人にて食し、  
まよ、各幾個の葡萄を、食し得るや、

答

七 漁夫八人ありて、共に網を下だし、鯉十七匹と、  
鮒十五匹を得たり、今これを同じく分つとき、  
一人の得る所、幾匹ふるや、

答

八 白色の鬼十六匹と、黒色の鬼十一匹あり、これ  
を、九人に分つとき、各幾匹の鬼を得るや、

答

第十二節

一梅の花九輪あり、然るに三輪を既に散りたり、今残りたる花を二人に分つとき、各幾輪の花を得べきや、

一入答

二十八斤の荷物を運ぶべきとき、最早三斤の荷物を運びたりといふ、然るとき、残りたる荷物を三人に分て運むんとせど、各幾斤を運ぶべきや、

一入答

三四人の漁夫ありて、共に網を下たし、一時間に

魚廿三匹を得たり、然るにうち七匹を逃がしたりといふ、今残りたる魚を分つとき、各幾匹を得べきや、

答

四或人、船に乗りて、卅二里の路を行くんとせむに、最早七里の路を行きたりといふ、然るとき、この残りたる路を、五時の間に行くとき、一時間は、幾里宛歩むべきや、

答

五一書記あり、六時の間に、卅枚の書を寫さんと

も、然るに、友人ありて、此中六枚を、寫したる、今残りの書を寫はよと、一時間に幾枚宛、寫すべきや、

答

六 雜卵廿五個あり、うち四個を、既に食したり、今之を雜卵を、七日の間に食はるに、一日に、幾個

を食はべきや、

答

七 五十個の銃丸あり、うち二個を、最早放射せり、今残りたる銃丸を、八日の間に、放射はるに、一日に、幾丸宛放つべきや、

答

八 七十一里の、路程を、九日の間に、歩行せんとするに、初日、既に八里を行きたり、然るとき、残りの路を行くに、一日に、幾里を行くべきや、

答

第十三節

一 一部三冊の書物、四帙あり、これを兄弟の小兒に、與ふるとき、各幾冊を得るや、

答

二 幅二尺にして、長と九尺の板あり、これを、三枚



に切るときき、一枚の寸方を、幾尺とあるや、

答

三八羽の鶯ありて、一週目に、各卵を生むこと三個ふり、これを、四羽の雌雞に、争へきしむるときき、雌雞十羽毎に、幾個の卵を、争へべきや、

答

四十本を、一束とせし筆三束あり、これを、五人の生徒に、分ち與ふるときき、各幾本の筆を得るや、

答

五 海軍の一スカドロンの軍艦八艘あり、今三スカドロンの軍艦を、六個所の鎮臺に送るときき、各所、幾艘の軍艦を得べきや、

答

六十坪の地面、七個所あり、これを、七人に分つときき、各幾坪の地面を得るや、

答

七一ダズンも、十二個を、一把と系したる名ふり、今二ダズンのものを、八個に分つときき、各、幾個となるや、

答

六 西洋蠟燭一箱を六挺入れたり、今三箱の蠟燭  
あるときこれを九人に分てを各幾挺の蠟燭を  
得るや、

答

六十集合數

第一節

一 一尺七寸あり一寸も十分あり、今一尺五寸  
五分に二尺六寸四分を加ふれを幾許ありや、

答

二 一斗七升あり一升七十分あり、今一斗五升  
六合に二斗七升八合を加ふれを幾許ありや、

答

三 目方の一匁も十分あり一分も十厘あり、今二  
匁五分六厘に三匁七分五厘を加ふれを幾許あ  
りや、

答

四 三尺四寸三分より一尺五寸四分を減じると  
幾許ありや、

答

五 四斗五升四合より二斗六升五合を減じれば、幾許ありや、

答 四斗三升八合

六 五斗六分五厘より三斗七分六厘を減じれば、幾許ありや、

答 二斗八分九厘

七 一尺三寸四分に三を乗じれば、幾許ありや、

答 四尺零二分

八 二斗四升五合に五を乗じれば、幾許ありや、

答 一斗二升

九 三斗五分六厘に七を乗じれば、幾許ありや、

答 二斗二升九厘

十 四尺四寸九分を三に七割せば、幾許ありや、

答 一尺二寸四分

十一 五斗八升二合を六に七割れば、幾許ありや、

答 四斗六升

十二 六斗一分五厘を三に七割れば、幾許ありや、

答 四斗零二分

第二節

一 三尺二寸四分に二尺四寸三分を加へ、又これ

尺、四尺五寸六分を加ふれど、幾許ふりや、

答二匁

三 米二斗四升三合と、麥三斗六升五合に、豆四斗

八升二合を加ふれど、幾許ふりや、

答

三 銀五匁四分三厘と、鉛四匁五分六厘に、錫六匁

三分二厘を加ふれを幾許ふりや、

十四 答四七匁六分三厘

四 三斗五升の米一俵と、四斗五升の米一俵ある

とき、此二俵を合し、五斗三升を減せれば、幾許をふりや、

答 三丈八尺の水綿一反と、二丈五尺の絹一反の

名とあり、此より、三丈五尺を減せれば、幾許とふり

や、

答

六 五匁三分五厘に、二匁八分六厘を加へ、此和より、

七匁三分二厘を減せると、残り幾許ありや、

八 答

七 一間を六尺ふり、今間口五間にて、奥行七間の

地所あるとき、此より、支間口三間まで、奥行四間の

地所あるとき、此より、支間口三間まで、奥行四間の

地所を減はれぬを、残りの地所を、幾坪ありや、

一答、六尺あり、今間口五間あり、幾坪ありや、

八、一丈八尺の水綿四反と、二丈七尺五寸の水綿

五反ありとき、此水綿を、總で幾許ありや、

六、一答、三反五匁、二丈八尺六匁、水綿を

九、四尺七寸八分の糸五巻と、七尺五寸五分の糸

六巻あるとき、此より、一丈九尺二寸三分の糸三

巻を減はれぬを、残りの糸を幾許ありや、

二、一答、八尺の水綿一反と、二丈五尺の水綿を

十、一答、六分七厘の銀礫四個と、三匁四分五厘の

銀礫五個あるとき、此より、九匁一分二厘宛、四度

減はれぬを、残りの銀礫の目方も、幾許ありや、

一答、一匁宛、一匁宛、一匁宛、一匁宛、

七、一答、一匁宛、七尺五寸六分宛、水綿を織ること

六個目あり、妹を一目に、五尺二寸四分宛、水綿を

織ること八個目ありといふ、然るとき、姉の織り

たる水綿を、妹の織りたるより、幾許多きや、

一答、六尺四寸合、水綿を、一丈一尺二寸合、

十三、一答、六丈七尺九寸と、七丈二尺一寸の、水綿ありと

き、これを二丈八尺宛一反とふれとき、此水綿

幾反とあるや、八尺段一丈六尺を各段に敷水

六答 八丈六尺五寸、八丈二尺一寸、六尺四寸五分

八、六尺四寸四分の米と、一石五斗三升六合の米

あるは、これを四斗宛一俵と縁取るとき、此米

幾俵とあるや、曰く、此米の俵は、四斗宛一俵と

六答 八丈六尺五寸、八丈二尺一寸、六尺四寸五分

八丈四尺五寸の絹十卷、五丈八尺四寸の絹

一卷あるとき、此うち五丈四尺六寸を減じ、残り

七尺八寸分との地、各幾許の絹を得るや、

六答 八丈六尺五寸、八丈二尺一寸、六尺四寸五分

四斗五升の米と、三斗七升五合の麥あり、これ

を三人にて運ぶとき、其うち一斗二升三合

を既に運びたりといふ、然るとき、今擔ふべ

き米と麥と、一人に付幾許ありや、

六答 八丈六尺五寸、八丈二尺一寸、六尺四寸五分

二丈七尺五寸の絹五反と、二丈八尺の木綿四

反あるとき、これを五人にて分て、各幾許を得

るや、

六答 八丈六尺五寸、八丈二尺一寸、六尺四寸五分

七間口七丈四尺にして、奥行六丈五尺の地、面六

幾反とあるや、八尺段一丈六尺を各段に敷水

個所あり、これを三人に分ち與ふるときき、各幾坪の地所を得るや、

答

〔六〕銅八匁五分六厘也、鉛丹二匁三分二厘を、混じたる真鍮五個あり、これをて、烟管四本を造るときき、一本の烟管の目方と、幾許ありや

答

〔五〕三斗六升八匁の米五俵あり、これを一升計つとき、金七錢の割合を以て、賣り得たる金を、九人に分ち配分れるときき、一人の所得幾錢ありや

答

〔廿〕八輛の荷車ありて、米一石とつき、金一圓廿錢の運賃にて、米六石宛運ぶこと四度あり、然るときき、荷車一輛の得たる運賃ハ幾許ありや

答

〔廿一〕油二斗三升五合と、三斗六升四合を買ひ、此うち四斗六升五合を、自分の所持とふし、残りたる油を一合につき、金四錢の割合にて、賣り拂ひ得たる錢にて、酒を買ひて、八升を得たりといふ、然るときき、酒一升の價を、金幾錢ありや

廿六人の商夫ありて共に商法をふし、金二圓廿六錢の利益と金三圓四十錢の利益を得て雜費金四圓四十錢の損失あり、此の如きこと三度に於て、後この利益を配分するときは、各幾許を得るや、  
 廿三斗五升の麥四俵と、四斗五升の麥八俵あるとき、此うち半石四斗を費やし、残りを四斗宛一俵とあはせるときも此麥幾俵ありや、

答

廿二丈七尺五寸の水綿と、二丈八尺五寸の水綿、各四反宛あるとき、此うち七丈四尺を費やし、残りの水綿を、一丈につき、金廿五錢の割合にて、賣り拂ひ得たる金を以て、絹を買ひて五丈を得たりといふ、然るとき絹一丈の價を、金幾錢ありや、

答





